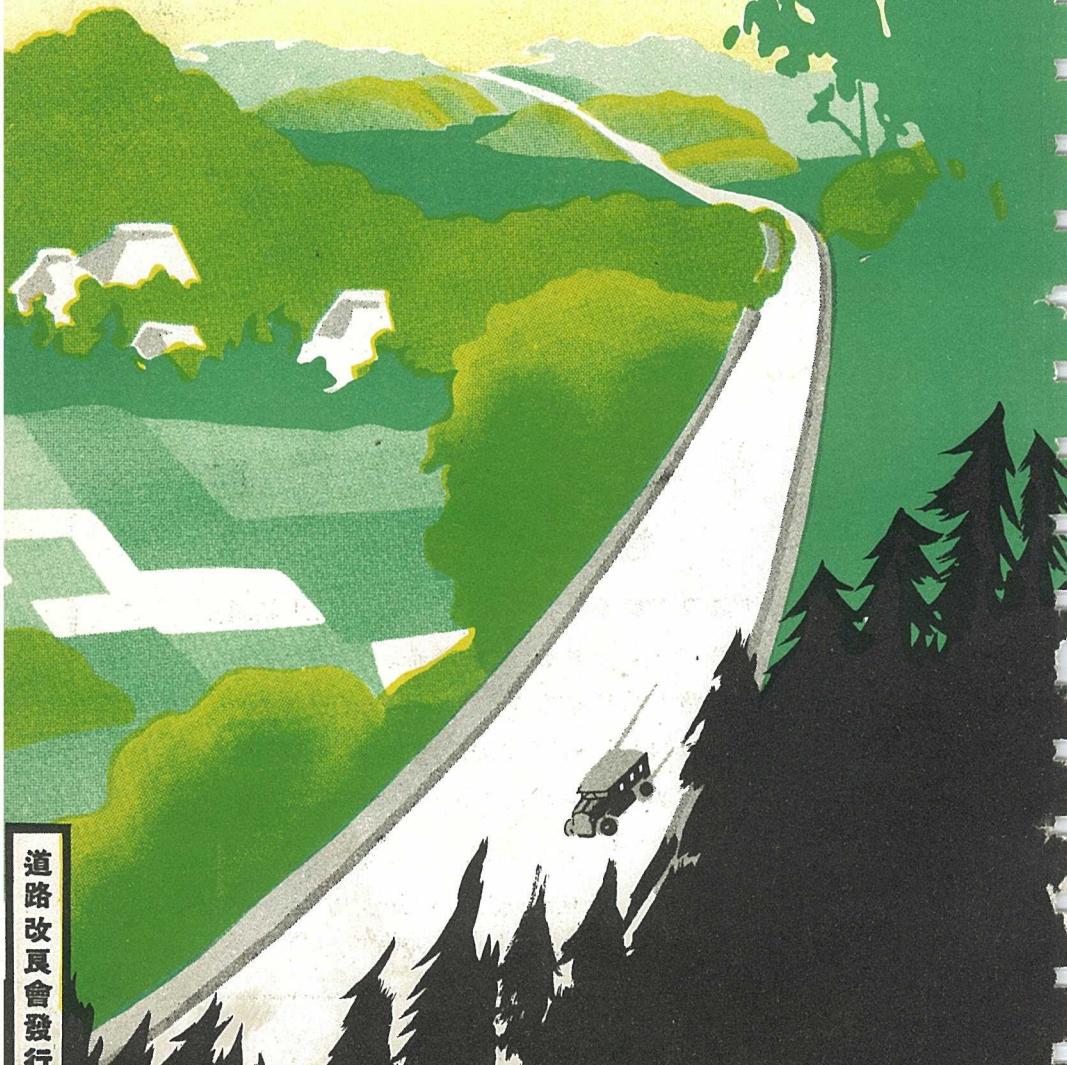


八年六月一日(毎月一回)日本
五十五日(毎月一回)日本

良の路道改

載轉禁

號六第 卷五十第





千葉縣勝浦町アスファルト鋪裝道路(五厘厚トペカ式)

昭和八年二月竣工 日本石油會社道路部施工

日本石油株式會社

道 路 部

營業種目 アスファルト其他各種道路及一般工事請負

特許ワーレナイト・ビチュリシツク鋪裝一手施工

特許簡易鋪裝デツプファルト一手施工

各種石油製品・國產アスファルト製造販賣

日石アスファルト乳劑製造販賣・工事請負

營業所 本 社 東京市麹町區丸ノ内三ノ四

出張所 横濱・名古屋・大阪・京都・福岡・下關・臺北・
京城・大連・新潟・秋田・小樽

道 路 鋪 裝 用

專賣特許瀝青乳劑「エマルビア」

製造販賣並鋪裝工事請負

瀝青乳劑「エマルビア」種類

透入用 瀝青乳劑「エマルビア」

不凍性 瀝青乳劑「エマルビア」

急硬性 瀝青乳劑「エマルビア」

濃・厚 瀝青乳劑「エマルビア」

混合用 瀝青乳劑「エマルビア」

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地碌々館

電話 京橋一、三二五番

製造工場 横濱市鶴見區菅澤町一九五

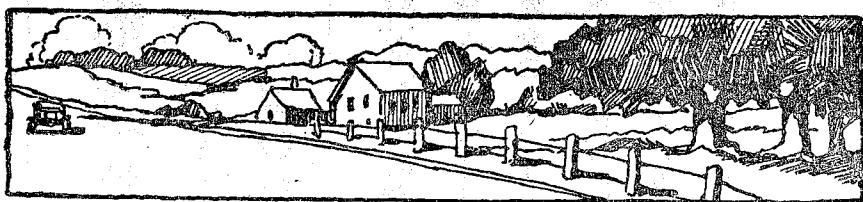
電話 鶴見一、一三一一番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目二、九

電話 京橋二、一三〇至二、一四九番

道路の改良 第十五卷 第六號 目次 昭和八年六月一日發行



口繪

片瀬橋（神奈川縣）
梅島橋（東京府）

卷頭言

論說

東京市交通機關の統整

田川大吉郎（三）

研究

府縣市町村より見たる道路事業（II）

平井良成（三）

道路と電信電話線に就て氷川氏に答ふ

東京遞信局技師淺見親（元）

遞信電柱の建移設に就ての一考察

某縣廳 i i 生（三）

技術

構造物の實驗解法（完）

内務技師青木楠男（四）

沥青質材料の凝固點、延性等

内務技師西川榮三（五）

座談會

道路維持座談會（四）

（六）

海外道路時事

ベニス島の道路連絡
クロツス・タイを用ひたる小鋪石道

内務省土木試驗所長
工學博士
日本路面交通機關
地下埋設物に依る

鋪装切取の修理……米國加州地震の被害……世界最大の混擬土拱橋……白耳義
ヘースト橋

漫 錄

土木主任官會議のぞ記……………十 八 公(金)

隨 筆

政治は安定か否か……………白 洋 漁 夫(二四)

批評と紹介

昭和七年度時局匡救土木事業の成績を顧みて 島取縣土木課長 岸 田 正一(二八)

地 方 通 信

北海道方面……關東方面……北陸方面……東海方面……近畿方面……中國方面……
九州方面……

假 面 劇

生命のちどまる交通取締……俸給亡國?……超時代的獎言……驚か鳥か判斷は公正なれ……
道路の改良は理想に止まるか……結婚教育は必要か……威張るな「支那そば」……(三四)

令 法

法令日記……農村振興府縣道改良事業ニ關スル件通牒……………(三八)

雜 誌 報

土木事務打合會……國際道路問題調査委員會……全國交通網調查會……神明國道竣工式……京阪國道竣工式……道路交通情勢調査要綱……(四一)
叙任辭令……(四五)



PAVEMENT

浅野物産株式會社道路部

東京市麹町區丸ノ内一丁目六番地ノ一



新發賣品

瀝青乳剤「ウォーターフアルト」
アサノアスファルトプロツク

アスファルト鋪裝

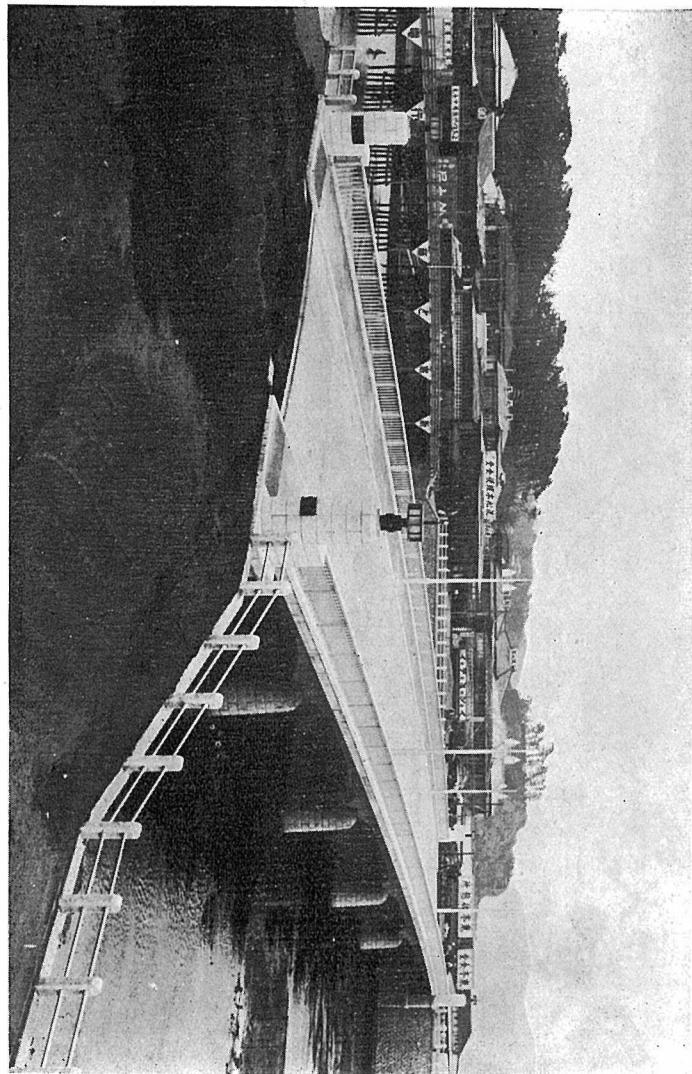
コンクリート鋪裝

A B C 式簡易鋪裝

瀝青乳剤「ウォーターフアルト」鋪裝

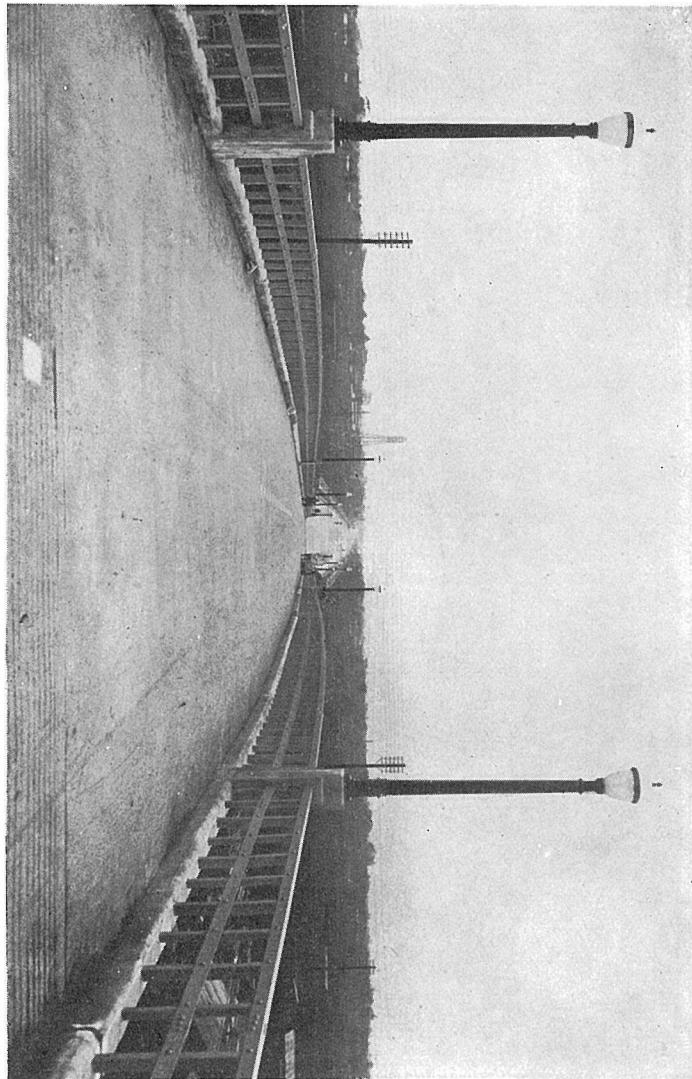
アサノアスファルトプロツク鋪裝

橋瀬片



濟牧業失縣川奈神 工施計設 線瀬大瀬片道縣 名總路 叫瀬片都倉鐵縣川奈神 置立 橋瀬片
各道歩米〇・八道車內米〇・四一 幅橋 米〇〇・一 長橋 橋桁土凝風筋式一・ペルメ 型橋 事工營直
・合配石膠 裝鋪道車 連二米五七・八一側兩 連二米〇・〇二間中 連一米五・二二中央 間徑 米〇・三
礎基込打巻周て以板矢鋼礎基造土凝風筋鐵 路橋臺橋 米三〇・〇厚 塊青壓 道步 米六〇・〇厚 二期
月三年八和昭功竣 月二十年六和昭工起 間期 圓四拾六千貳萬七拾 費工 (打沈

橋 島 梅



昭 手着 りな九〇九米〇三一部壁推付取〇米二〇二部梁橋内てしに九〇九米二三四
は橋本 明説 錢貳拾四圓貳拾參百臺千五萬七拾金 費工 日一十三月三年八和昭 功成 日一月七年七
梁高を道鐵け設セ橋梁高の用道車速高を〇米六員幅に央中の路道てしに橋線路の「ムテスシトーレベセ」
幅効有の面橋 むしせ又交面平と道鐵は道歩の五米三各員幅及道車速緩の七米五各員幅側兩の其めし
一の分五二は後前の其しと本水を米〇二英中は配勾斷縫の米〇三き長はに點終の配勾に並付取のと配勾と部平水さ
な米〇二一は距視全安小最も設セ線曲和緩鐵縫の米〇三き長はに點終の配勾に並付取のと配勾と部平水さ
りな五六米七上面路迄面橋(四四米五高方定輪車道鐵武東)〇六米五高純下折て於に間徑道軌央中はさ高
り

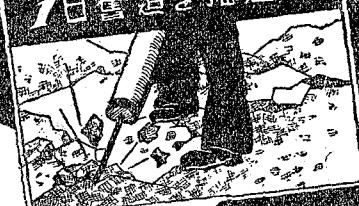
道路工事は 浅野セメントで

ひ

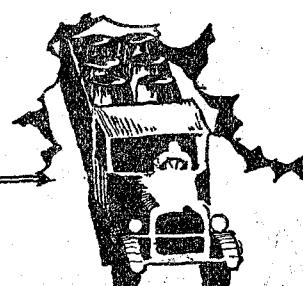
新道

新道

古道を掘返し



3日目にトラック新道を走る



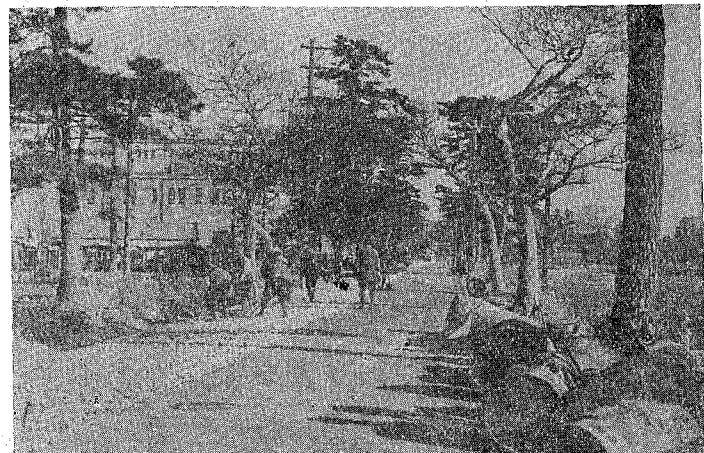
浅野セメント株式会社

駱駝と
コンクリート道路は
天気です

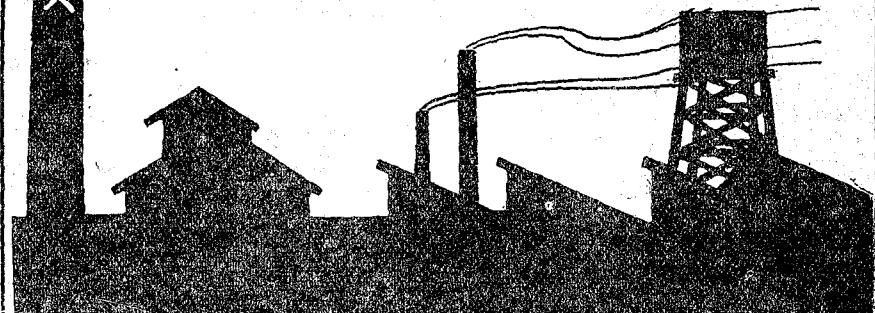
いい感じでも

簡易舗装
乳剤界の明星

EMUL-PHALT SION



埼玉縣鳩ヶ谷町エムラス舗装道路

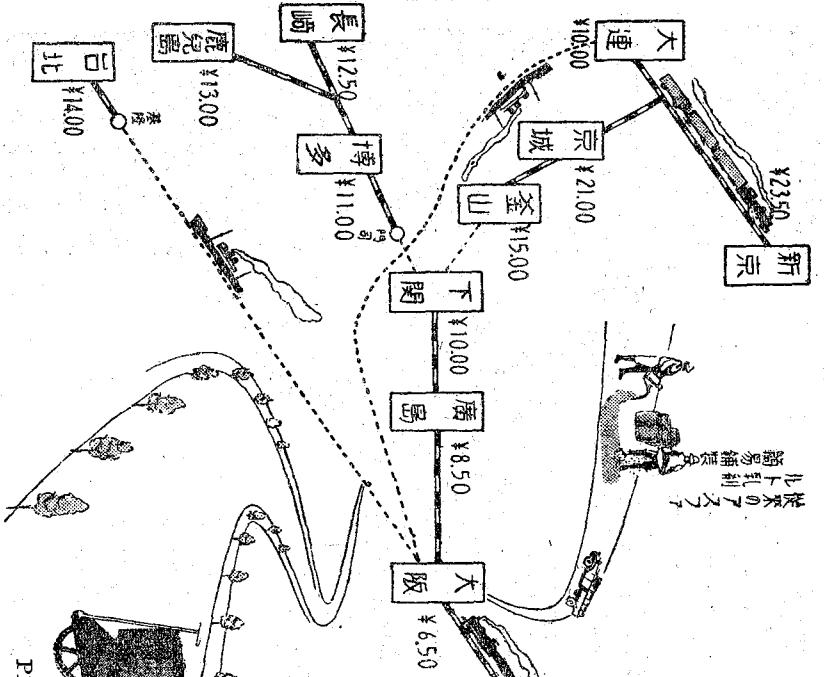


エムラス

エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四 電話墨田(74)二六三七番

東京市京橋區木挽町八丁目四番地八洲ビルヂング
石川アスフアルト株式會社



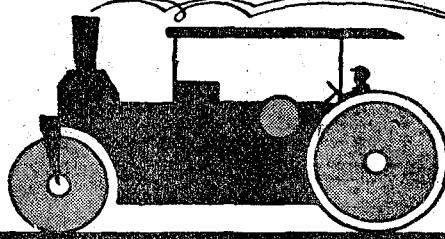
PAT.NO 83633, 83637

86485, 外公告中

1. 石川可燃易爆品の製造・販賣
2. 石川可燃易爆品の製造・販賣
3. フラスコ・ガラス管等の機器の製造・販賣
4. 本機の製造・販賣
5. 本機の製造・販賣
6. 半導體の製造・販賣
7. 本機の製造・販賣

1. 本機の製造・販賣
2. 本機の製造・販賣
3. 本機の製造・販賣
4. 本機の製造・販賣
5. 本機の製造・販賣
6. 本機の製造・販賣
7. 本機の製造・販賣

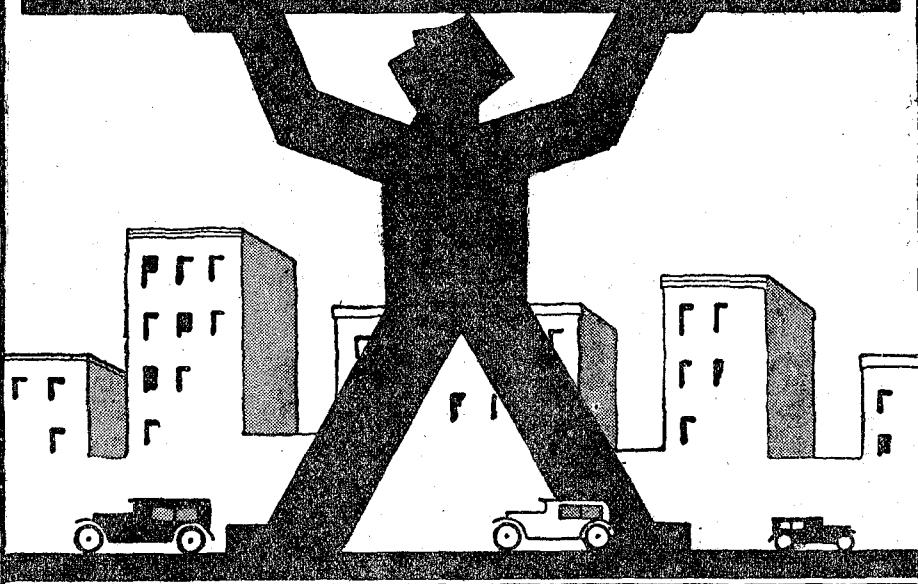




道路鋪装請負

株式会社
高野組

高野組



本社 東京市麹町區丸ノ内一丁目海上ビルディング四階

電話 丸ノ内(23)一九四八番

社名變更御通知

今般都合ニ依リ左記ノ通り社名變更仕リ一層業務ヲ擴張從前通り營業罷在リ
候ニ付何卒今後共御引立御指導之程伏而奉懇願候也

昭和八年五月

東京市赤坂區青北町四ノ一〇三

新名義 東邦工業合資會社

舊名義

日本アスカル工業合資會社

電話 青山 (36) 四九一七四八三

科 目 营業

各種道路鋪裝工事請負
土木建築工事請負
鋪裝材料
瀝青乳劑製造販賣

人安办值

キツ保証

造製剤乳業

製造熱加請

山富群青靜堵千宮長神北東
形山馬森岡玉葉城野奈海京
縣縣縣縣縣縣縣道市

一、二、一、二、二、三、三、四、五、八、四、一、二、一、三、一、六、六、六、七、一、二、二、〇、一、七、九、六、平
一、三、六、六、六、七、一、一、八、二、六、九、六、米
一、二、二、三、三、四、五、五、九、九、二、二、五、九、二、米
一、三、一、五、三、五、七、二、八、四、一、一、八、〇、三、一、一、六、四、一、五、五、九、九、二、二、五、六、一、米
六、二、二、七、八、五、现在(大略)

合其陸農海宮山石鐵新茨
辨社鋪裝昭和七年十二月現在
ノ軍林軍輪梨川道潟城
計他省省省縣縣縣縣縣縣

立創年三和昭

社會式株裝鋪路道本日

操 渡 馬 役綿取務專

地番十目丁三内ノ丸區町麴市京東

番九二八四 長特 } (23)内ノ丸話電
番二八九四

昭和八年

道路の改良

六月一日

第五十卷
第六號



言頭卷

非常時は解消された憲政を常道に還せ、とは政友會が内閣を乗取らむとする言草である、併し非常時であるが爲に憲政を無視しても可いと言ふ理屈がないに不拘現内閣を支援したことが、既に自らを輕視する行動であつて、之を精算するが爲に口實を造つて内閣と絶縁せむとするのは公黨としての輕舉盲動と言はねばならぬ、従つて辭職すべき筈であつた高橋藏相が留任を聲明し、其の他の閣僚も容易に辭すべき模様も見えない、そこで黨内には自重論急進論が對立して互に鬭争してゐる、蓋し主義政策を度外視して集合した集團當然の歸結であらう。

此情勢の下に於て鈴木總裁が如何なる裁定を與へるかは判らないが、急進論に依つても亦自重論に依るに於いても、黨の分解作用が行はるゝことは豫想し難くない、之に動機して今でこそ與黨取りしてゐる民政黨にも分解騒動が起るべきは當然の成行であらう、此く感ずるときは既成政黨の改革は運命附けられたものと言つて可い、固より國家存續の爲に立憲の制度が可いとすればファツシヨーの如き制度を許すべきでない、従つて政黨——善良なる政黨の存在を認めなければならぬ、幸にして政友會現時の内紛が進展して有ゆる既成政黨が改革さるゝに至つたならば、政權は憲政の常道に従つて行くべき所に行くであらう、従つて非常時の解消を口實に政権争奪の策動も必要としないであらう、故に吾人は急進論者が既成政黨が改革さるゝところにまで行動し既成政黨の改造は政黨の手に依つて行はむことを所望する、現内閣成立のときに聲明された政黨の廓清は現内閣の手を籍らず政友會自身の行動に依つて達成さるゝことゝ爲るであらう。